

第1回放課後対策事業運営委員会 会議概要（議事録）

- 日 時 平成25年5月13日（月） 午前9時30分から午前11時30分
- 場 所 我孫子市消防本部・西消防署 2階 大会議室
- 出席者
委 員 中迫 哲朗(委員長)、金子 博之(副委員長)、北原 靖子、蓮見 元子、
河村 千津子、内山 千寿、荻野 宏江、佐藤 正和、中嶋 康貴、
坂手 千代子、浦島 誠、佐野 史尚、小林 道治、佐藤 里美、大野 敦子、
鈴木 幸子、松本 守正、増田 建男
事務局 コーディネーター：古高 すま子、深谷 幸子、森井 貴美子
子ども支援課：相良、黒岩

●事前説明

- * 議事録作成のための録音許可について
- * 傍聴要領の承認について
- * 委嘱状・辞令の交付について
- * 資料確認

1. 委員長あいさつ
2. 委員自己紹介及び事務局紹介
3. 本委員会の任務及び平成25年度年間スケジュールについて
4. これまでの経過説明
 - (1) 我孫子市における放課後対策事業における検討経過について
 - (2) 平成25年度学童保育室入室状況について
 - (3) あびっ子クラブにおける1年間の活動状況について
 - (4) 平成25年度あびっ子クラブ登録状況について
5. 今年度の取組みについて
 - (1) 各あびっ子クラブ及び学童保育室の活動状況について
 - ・東小あびっ子クラブの進捗状況
 - ・あびっ子クラブへの専任配置による運営状況
 - (2) 平成25年度放課後対策事業における主要事業について

6. その他

次回以降の運営委員会開催の日程について

第2回	8月20日（火）	9：30～11：30	消防本部	大会議室
第3回	11月20日（水）	9：30～11：30	消防本部	大会議室
第4回	2月中旬（予定）		教育委員会	会議室（予定）

公開／非公開：公開

傍聴人：無

●会議概要（要約）

【開 会】

- ・ 議事録作成のため、録音させていただきたいがよろしいか。[異論なし]
- ・ 「会議の公開に関する情報公開条例」、「審議会等の会議の公開に関する規則」に基づき、原則公開としたい。また、会議の公開にあたり、傍聴に関するルールを定めた「傍聴要領」（案）を作成しましたので、ご承認いただきたいがよろしいでしょうか。[異論なし]
- ・ 異論がありませんので、「傍聴要領」に沿って、傍聴人の手続きを行わせていただきます。本日は、傍聴人の届け出はありませんでした。
- ・ 委嘱状については、委員の机の上に置かせていただいていますので、ご確認ください。
- ・ また、市の職員については、委嘱状を省略いたしますので、ご了承をお願いします。
- ・ 資料確認

我孫子市放課後対策事業運営委員会設置要綱

「あびっ子クラブ推進計画」

「我孫子市学童保育室施設整備計画」

「我孫子市放課後対策事業検討委員会報告書」

「子どもの居場所事業検討委員会 平成19年度検討報告書」

（資料）

- 1 放課後対策事業運営委員会の任務及び平成25年度年間スケジュール
 - 2-1 各学童保育室5月1日の児童数
 - 2-2 平成25年5月1日現在 学童保育室入室児童数
 - 3-1 一小あびっ子クラブと学童保育の実施状況（H24.4～H25.3）
 - 3-2 根戸小あびっ子クラブと学童保育の実施状況（H24.4～H25.3）
 - 3-3 三小あびっ子クラブと学童保育の実施状況（H24.4～H25.3）
 - 3-4 湖北台西小あびっ子クラブと学童保育の実施状況（H24.4～H25.3）
 - 4 あびっ子クラブ登録状況
 - 5 平成25年度 放課後対策事業における主な新規事業
- イースト情報等のあびっ子クラブ掲載記事のコピー

1. 委員長あいさつ

本委員会委員長の子ども支援課長です。第一回放課後対策事業運営委員会にお集りいただき、ありがとうございます。

今年度は5校目となるあびっ子クラブを、湖北台東小学校に設置します。また、昨年施行された、子ども・子育て支援法を受け、当市でも子ども・子育て会議を設置し、様々な子ども関連の計画等の検討を行います。「子ども総合計画」も平成26年で計画期間が終わりますので、新たに策定します。25年度にニーズ調査を行い、26年度に子ども総合計画と支援計画をあわせて策定します。

皆さまの意見も反映されることになると思うので、よろしく願いいたします。

2. 委員自己紹介及び事務局紹介

- (副委員長) 今年度は2年目となります。みなさまのご協力が第一となります。よろしくお願いいたします。
- (委員) 湖北台西小学童保育室に所属しています。よろしくお願いいたします。
- (委員) 湖北台東小学童保育室に所属しています。よろしくお願いいたします。
- (委員) 根戸小あびっ子クラブサポーターの代表です。学童保育室とあびっ子クラブ一体化に関する具体的な問題について、どんどん意見を出し合っていたらと考えています。
- (委員) 湖北台東小あびっ子クラブのコーディネーターです。よろしくお願いいたします。6月1日から東小あびっ子クラブが始まります。皆さまのお力を借りて運営していきたいと思っていますので、ご協力をお願いします。
- (委員) 三小あびっ子クラブのコーディネーターです。今年度も学童保育とあびっ子クラブのために話し合いを重ねていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。
- (委員) 子ども総合計画市民推進委員として参加させていただいています。よろしくお願いいたします。これまで推進委員を2年務め、今年は3年目になります。みなさんの意見をいただきながら、務めていきたいと思えます。
- (委員) 教育委員会生涯学習課から参加しています。この4月に異動して参りました。まだわからないことがありますので、皆さまに教えていただけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。
- (委員) 我孫子市の民生委員の代表です。よろしくお願いいたします。湖北台西小でサポーターをしていますので、みんなで楽しく遊べたらと思っています。
- (委員) 我孫子市青少年相談員の代表です。よろしくお願いいたします。
- (委員) 三小PTA会長です。先日開催された我孫子市PTA連絡協議会において、あびっ子クラブ担当としてご指名いただきましたので、急遽参加させていただいております。まだ内容をわかっていませんが、子どもが学童及びあびっ子のお世話になっていますので、少しでもお力になればと思っています。よろしくお願いいたします。
- (委員) 湖北台西小学校校長です。よろしくお願いいたします。
- (委員) 湖北台東小学校校長です。この4月に着任しました。あびっ子クラブをこの6月に作っていただくことになり、ありがとうございます。また、よろしくお願いいたします。
- (委員) 川村学園女子大学文学部心理学科の教授です。本日、もう一人が欠席となってしまいましたが、川村学園として二枠も用意していただき恐縮です。地域の大学として、学生がサポーターとしてお手伝いするのを見守ったり、放課後の子どもたちのあり方の調査研究のお手伝いをしています。よろしくお願いいたします。
- (事務局) 事務局を務めさせていただきます子ども支援課の主査長です。今年1年間よろしくお願いいたします。あびっ子クラブが6月にオープンし、5ヵ所となりますが、

そのうち2カ所のコーディネーターは運営委員として参加していますが、残りの3カ所のコーディネーターは事務局として参加し、運営の報告と課題等を報告させていただきますので、よろしくお願いします。

(事務局) 事務局を務めさせていただきます子ども支援課の主事です。今年の4月に入庁しました。まだわからないことが多く、至らない点があるかもしれませんが、よろしくお願いします。

(事務局) 事務局での参加となります一小あびっ子クラブコーディネーターです。よろしくお願いします。

(事務局) 事務局での参加となります根戸小あびっ子クラブコーディネーターです。よろしくお願いします。

(事務局) 事務局での参加となります湖北台西小あびっ子クラブコーディネーターです。よろしくお願いします。

3. 本委員会の任務及び平成25年度年間スケジュールについて

(委員長) 続きまして、本委員会の任務及び平成25年度年間スケジュールについて、説明させていただきます。資料1のご用意をお願いします。任務は「我孫子市放課後対策事業運営委員会」に位置づけられています。まず、我孫子市における総合的な放課後対策事業(学童保育とあびっ子クラブ)の運営に関する検討を行います。今年度の検討内容としては、学童保育とあびっ子クラブの一体的な運営方法、利用状況や活動状況など運営に関する検討を行います。また、6校目となるあびっ子クラブの設置及び運営方針などについて検討を行います。2つ目として、我孫子市における総合的な放課後対策事業の検証及び評価を行います。3つ目として、我孫子市における総合的な放課後対策事業(学童保育とあびっ子クラブ)の問題点などの分析及び改善方策の検討を行います。次に、25年度の年間スケジュールについてです。本日が第1回目になります。議題はこれまでの経過、今年度の取組みについてです。第2回が8月20日(火)です。内容については、あびっ子クラブ及び学童保育の運営についての報告、湖北台東小学校における進捗状況についての報告、今後の事業推進についての検討になります。第3回が11月20日(水)です。あびっ子クラブ及び学童保育の運営についての報告を始めとする内容となります。会議室を予約するのが非常に難しい状況になってますので、会議室が確保できる日で日程を組ませていただきました。場所はすべてこちらの消防本部の大会議室です。第4回については場所が未定となっておりますが、2月下旬に行う予定です。よろしくお願いします。

(委員長) これまででご質問はありますか。なければ次の、議題に移らせていただきます。

4. これまでの経過説明

(委員長) では、これまでの経過説明を事務局よりさせていただきます。

(1) 我孫子市における放課後対策事業における検討経過について

(事務局) 計画書のご用意をお願いいたします。まず、「子どもの居場所事業検討委員会 平成19年度検討報告書」をご用意ください。18ページをご覧ください。あびっ子クラブは平成19年に第一小学校でモデル事業として、オープンしました。我孫子市ではそれまでに、「子どもの居場所づくり推進計画」を策定し、幼少期の子どもから小学校、中学校の子どもたちが過す居場所について、検討を行い、その中の1つとして、小学生を対象とした放課後の居場所事業のモデル校として一小であびっ子クラブをスタートしました。モデル事業の検証を行った結果報告としては、これまで学童保育を公設公営で市内の小学校すべてで開設している中、学童保育とあびっ子クラブ、2つの事業が同じ小学校に存在することとなりました。「あびっ子の子も、学童の子も放課後を過ごす子どもに変わりはなく、両事業を効率的に行うよう検討すべきである」、「あびっ子クラブと学童保育の機能や役割は別々であっても、子どもたちにとっては、学校施設の活用により活動場所や活動内容に広がりができ、子ども同士の交流や大人との交流が深まるなど、子どもたちへの効果を考慮すると別々に運営する必要はないと考えます」という内容が検討委員会で示されました。この結果を受けて、平成20年度に学童とあびっ子の一体的な運営を検討するために、「我孫子市放課後事業検討委員会」が設置されました。「我孫子市放課後対策事業検討委員会報告書」の2ページをご覧ください。この検討委員会では、基本的な考え方として、学童とあびっ子の2つの事業を放課後対策事業として位置づけ、どのようにしたら学童保育とあびっ子の一体的な運営ができるのかを検討しました。子どもの居場所を整備する目的や、整備した場合のメリット・デメリットの検証がなされ、学童とあびっ子を一体的な運営方針が示されました。一体的な運営の取組みを検討する上で課題としては、学童保育室を一般の子どもたちが利用できるかどうかでした。今年度は、約90人、学童保育室では特別な支援が必要なお子さんをお預りしており、この子どもたちの安全、安心を守らなくてはならないということで、検討した結果、学童保育の部屋に一般の子が入ることはやめさせていただきました。知らない子が入ってくるとパニックになってしまったり、自分の中に閉じこもってしまうお子さんも多いので、その子たちの安全を守りつつ、学童の子と一般の子が交流するために、あびっ子には必ずメインルームを確保し、そこで子どもたちが交流するという我孫子市独自の方法を取ることとしました。そして、両方の子どもたちをフォローするために学童保育とあびっ子のスタッフが両事業をみるという体制をとっています。このスタッフの連携がうまくいっているかどうかについては、後ほどお話しさせていただきます。こちらの検討結果を受けて、「あびっ子クラブ推進計画」、「我孫子市学童保育室施設整備計画」を策定しました。学童保育とあびっ子が一体的な運営をしていく上で、学童の現状を踏まえつつ、地域性も考慮し、あびっ子クラブと学童保育室を整備していく計画になっております。昨日行われ

た、学童保育連絡協議会総会において、市長より平成26年度の新たなあびっ子クラブの計画が報告されました。現在、並木小学校への開設を検討しています。まだ予算が確保されていないので、補正予算案とともに議会に上程し、6校目として整備を進めていきたいと考えています。

(委員長)「4. これまでの経過説明」がすべて終わってから、まとめて質問を受けたいと思いますので、引き続き、平成25年度学童保育室入室状況についての説明を事務局からお願いします。

(2) 平成25年度学童保育室入室状況について

(事務局) 資料2-1「各学童保育室5月1日の児童数」のご用意をお願いします。まず合計の人数をご覧ください。平成19年度の900人をピークに減少傾向にありましたが、平成25年度は前年度比で増加しました。学校別では、一小、四小、湖北小、布佐小が増加しています。新木小、布佐南小は減少が続いております。続いて、資料2-2「平成25年5月1日現在 学童保育室入室児童数」をご覧ください。注目いただきたいのは、学年別の構成比です。全学童登録児童の81.6%が1~3年生となっています。4~6年生は、お留守番ができるようになっていたり、部活や塾に通い始める児童が増えるため、18.4%の登録率となっております。更に6年生の登録率は2.4%と非常に低い数値となっております。

(3) あびっ子クラブにおける1年間の活動状況について

(委員長) 続きまして、あびっ子クラブにおける1年間の活動状況について、各あびっ子クラブのコーディネーターから説明させていただきます。まず、一小のコーディネーターをお願いします。

(委員) 昨年一年間の活動状況について報告ます。一小では体育館の耐震工事があり、夏休み期間中は学校のプールが市民プールとしての使用できなかったことも影響し、あびっ子への参加者数が非常に少なかったです。参加者数及びチャレンジタイムの実施状況は資料に記載されているとおりです。一小は開設以来7年経っているのでスタッフも慣れていて、チャレンジタイムの実施回数も増えていきます。児童の登録状況については、例年と変わっていません。今年度に入り、4月22日に新1年生のために体験入室を実施しました。学校に配慮いただき、1時間ずつ実施しています。受付方法、あびっ子クラブ内のルールについて説明をしました。そのおかげで、5月1日からはスムーズに参加できました。4月23日には、チャレンジタイム体験祭りを実施しました。年に2回、4月と12月に大勢のサポーターさんの協力を得て、同時開催を実施しています。8つのチャレンジを同時に行いました。体験入室とチャレンジタイムのときの様子を写真に撮っていますので、回覧します。本日、委員として参加されている根戸小サポーターの方にもショートテニスでお手伝いいただきました。一小は参加者が多いので、非常に助かりました。チャレンジ祭り終了後はサポーター会議を行い、それぞれ反省を行

い、会議録も作成しました。そのなかで新1年生も親が同伴であれば参加可能であると事前にお知らせしていたので、当日は4組の親子の参加がありました。また、校長先生にお声がけしたところ、すべてのイベントを見学し、終了後にはサポーター会議で放課後の居場所についてお話しいただき、とてもありがたかったです。あびっ子クラブと学童保育室の一体運営が始まって4年が過ぎましたが、スタッフはいろいろな形の勤務体制を試行錯誤してきました。1年目は1日交替であびっ子クラブと学童保育室に勤務しました。しかし、その勤務体制はかなり運営する上で難しいという意見を受け、2年目と3年目は、スタッフが1週間ずつ交代する体制としました。しかし、あびっ子クラブが毎年1校ずつ増えている中、今年度から全あびっ子クラブに専任スタッフが配属されることになり、80%ぐらいの割合であびっ子クラブについてくれるようになりました。4月は5月の新1年生を受け入れるため準備がいろいろありますが、専任が配属されたおかげで準備を進めやすくなり、ありがたかったです。そして、5月1日よりあびっ子クラブの新年度がスタートしました。1日と2日は、家庭訪問による短縮授業の影響で、非常にたくさんの参加があり、1年生は30名以上の参加がありました。13時半から17時までと長い時間だったため、安全な環境を確保するためにスタッフ一同がんばりました。毎年のことですが、あびっ子クラブには家庭にないおもちゃがたくさんあるため、1週目はメインルームで遊ぶ児童がほとんどで、図書館に紙芝居を用意していましたが、あまり来ませんでした。2週目に入りチャレンジタイムが始まると、たくさんの参加がありました。今年は16時から16時半の間にお迎えに来る保護者の方が多く、閉室時間前の30分間は高学年の児童だけでのびのび遊んでいました。5月25日は運動会があるため、サポーターと連携をとりながら、使える場所、使えない場所を確認しながら、安全な場の提供に努めていきます。続いて学童保育室について報告します。今年からリーダーが交代しました。他のスタッフは全員同じだったので、リーダーは心配りが大変だったと思います。新1年生が26名登録しており、今年度は学童保育室の児童数が非常に増えました。スタッフが戸惑うほどの元気な1年生がたくさんきています。現在は50名近い登録児童数です。例年5月の始めはあびっ子クラブの新年度オープンに伴い、学童保育室を退室する児童が増えるのですが、年々その動きはおさまりつつあるので、大幅に減ることはないと思います。人数が多くてにぎやかでとても元気が良いです。挨拶、片付けがきちんとできます。食事、外遊び、宿題など、リズムある生活を心がけていきたいです。子どもたちは、あびっ子クラブがオープンしたことによって、遊ぶ場が増えて楽しそうです。学童保育室のスタッフが子どもたちをあびっ子クラブまで連れていき、おやつの時間になると学童保育室へ連れてもどるということをしています。一小の報告は以上となります。

(委員長) 続きまして根戸小コーディネーターをお願いします。

(委員) 根戸小あびっ子クラブの報告をします。資料に今年度1年生の登録率が86%

と記載されていますが、今日時点では94%まで上がってきています。2年生は91%と記載されていますが96%となっています。3年生までが利用率が高いです。6年生の参加率がゼロに近かったのですが、最近増えてきています。高学年の子が低学年の子と遊んでくれています。チャレンジタイムは月平均24回行っており、中には一日に2つ同時に行う日もあり、サポーターさんがとても充実しているため、とても感謝しています。チャレンジタイムでは「スタディ」の実施回数が一番多く、30回実施しています。参加人数は361名、1回あたりの参加平均人数は12名となっています。母親に「今日はスタディがあるから参加しなさい」と言われ、あびっ子クラブに来た子もいます。これまでは、保護者になかなかおたよりを見てもらえてなかったのですが、保護者の関心が高まっているのを感じました。5月の新年度スタートに伴い新1年生が増え、4月に比べて利用数が大幅に増えていきます。根戸小のあびっ子クラブは、廊下を挟んで反対側に学童保育室第一があり、別の棟で第二と第三の学童保育室があります。場所の都合上、第一があびっ子クラブの利用率が高いのではないかという思いがあります。現在、スタッフは18名、サポーター登録は36名です。人数が多くスタッフ同士の連携が課題になっています。あびっ子クラブで何を行っているか、学童保育室のスタッフにも知ってもらうため、月単位で2名ずつスタッフのローテーションを行っています。これによって、あびっ子のスタッフと学童保育室のスタッフがお互いの状況に関心を持ち、お互い手薄になっているときに協力し合える体制になってきていると感じています。これまでは、あびっ子クラブと学童保育室では行事を別々に行っていましたが、今年度は合同のイベントを行いたいと考え、現在話し合っているところです。昨年、スタッフ同士の交流会を実施し、非常に良かったので、今年度も開催したいと考えています。チャレンジタイムの内容については、年間計画を立てていきたいと考えています。最近では常時卓球台をメインルームに出せるようになったのですが、教えられる方がいないので、経験者を探して、遊びだけでは終わらせずに上達につなげていきたいと考えています。続いて学童保育室の報告をします。現在、第一、第二、第三すべて合わせて児童数は131名です。若干名ですが、あびっ子クラブの開室時間内の利用で済む方は、学童保育室の退室をしています。4月に新一年生歓迎会を実施しました。上級生から折り紙で作った駒などをプレゼントしました。とてもにぎやかに外遊びも屋内の遊びも行っています。保育室が3つに分かれているので、クラス替えを毎年行い、学童間の交流も図っています。第一、第二、第三すべての子どもに同じ目線で保育ができるのが一番ベストだと思っています。子どもたちからはクラスが変わったことによって、新しい仲間が増えたとの話も聞いています。以上です。

(委員長) ありがとうございます。続いて三小コーディネーターをお願いします。

(委員) 三小あびっ子クラブについて報告します。三小あびっ子クラブは高学年の参加者が多いです。部活が終わった後など、16時30分を過ぎてても5分、10分

だけでも遊ぶために来ている子がいます。これまで、三小学童保育室が学校の敷地の外にあり、子どもたちは自由に外で遊べない環境にありましたが、あびっ子クラブができたことによって、あびっ子クラブに寄って遊んでから、学童に行くようになり、少し子どもたちが自由に遊べる時間ができたかなと感じています。しかし、逆に学童に行ってから1人で勝手にあびっ子にくることはできないことになっているため、あびっ子で遊びたい時は学童保育室に行く前に寄って遊んでいかななくてはいけないルールになっています。1日の平均参加者数は40名ほど。やはり、夏とインフルエンザが流行る1月は毎年参加人数が減る傾向にあります。特に昨年の夏は、除染作業で校庭も、プールも使えない状況だったため、非常に少なかったです。今年は体育館の耐震工事があるので、何か対策を考えなくてはならないと思っています。チャレンジタイムは資料のとおり活動しています。お箏のチャレンジを去年から始めたのですが、毎回参加する子がいます。その子の祖母がお箏をやっていたそうで、家に弦が切れているお箏があるとのことで、「弦はどこで張り替えればよいか」というお問合せがありました。また、チャレンジタイムがきっかけで、お箏を習い始めるようになった子もいます。新たなチャレンジとして囲碁が12月からスタートしました。チャレンジをきっかけに続けて習いたいという子がいたので、囲碁協会の方に習える場所を紹介していただき、習い事を始めるきっかけになりました。このように、チャレンジタイムを通して、子どもの興味の幅が広がるきっかけになったのが非常によかったです。三小健康クラブさんという第三小学校を中心に活躍している団体が、活動の中にあびっ子クラブの子どもたちを参加させてくれています。特にグランドゴルフは、ボールが真っ直ぐ転がっただけで、スタッフのみなさんが子どものことをとても褒めてくださるので、子どもたちも大変よろこび、人気のイベントになっています。地域の方と一緒に過ごすということは、子どもたちにとってとても良い経験になっていると思います。また、川村学園女子大学が近いので、学生さんたちのサポーターが多く来てくれます。子どもたちも若いお姉さんが大好きなので、来て遊んでくれると、とても楽しんでます。ただ、学生さんなので卒業してしまおうと来れなくなってしまい、来れる期間が短いのが非常に残念です。次に学童保育室について報告します。学童保育室は、小学校の敷地外にあるため、学校の校庭やあびっ子を自由に行き来ができません。広い1つの空間に95名が過しています。AとBの2グループに分けてはいますが、1つの空間なのでどうしても騒がしいです。グループ分けをしてから1年経ち、子どもの把握や、自分の担当の子どもをしっかり見ることはできるようになりました。昨年からはあびっ子クラブに専任スタッフを配置してもらっていますが、学童保育室のスタッフが急に辞めてしまうことが何人か続き、学童保育室のお手伝いに行かなくなるとはいけなため、なかなかあびっ子に専任でいることができない状況が続いています。しかし、逆に考えるとあびっ子クラブに専任スタッフを配置したおかげで、学童保育室のスタッフが不足してもサポートができ、うまく連携をとって運営することができて

いるとも考えられます。新1年生の受入れも5月から始まり、他の学校と同じようにあびっ子の利用方法等の体験を行いました。4クラスあるので、1時間に2クラスずつという形で、2時間やらせていただきました。また、学童は学童で一般の子たちとやり方が違うので、別で体験を行っています。1年を通じてだんだん遊びに来る子たちは固定され、その子たちの居場所になっていきます。また、学童の子が学童に行く前にあびっ子クラブに寄り、ワンクッション置く大事な位置づけの場にもなっていると感じています。以上です。

(委員長) 続きまして、湖北台西小コーディネーターお願いします。

(委員) 湖北台西小あびっ子クラブです。昨年度の登録率について、登録した子が転出し、転入してきた子が登録してくれたため、表では100%となっていますが、実際は1年生も2年生も2名ずつ登録していない子がいます。4年生が利用してくれる子が多いです。3年生は比較的に利用してくれる子が少ないです。チャレンジタイムの実施回数が少ないですが、とりあえず1年目ということで、子どもたちがあびっ子クラブがどういうところかわかるように、折り紙をしたり小さな工作をしたりは毎日してました。だいぶ子どもたちも慣れてきたので、今年度はグランドゴルフの実施計画を立てていきたいと思えます。5月から1年生を受入れるのですが、湖北台西小は昨年オープンだったので、初めて1年生だけを迎える準備となりました。専任スタッフと協力をしながら学校を回り、1年生の担任の先生と一緒にあびっ子クラブの利用の仕方の練習をさせていただきました。子どもたちは利用開始をとっても楽しみにしてくれて、5月1日から登録者の半分近くが毎日利用してくれています。練習をしたことによって登録していなかった子たちも後から数名登録してくれています。現在では232名。1～3年生の90%が登録してくれています。サポーターさんも去年に比べてだいぶ増え、27名が登録してくれています。毎日少なくとも1名は来ており、子どもたちの相手をしていています。今年は、支援学級の子が11名いるのですが、そのうち9名があびっ子クラブの登録をしていています。学童の児童も含めてです。そのため、今年からあびっ子クラブのスタッフを増員しています。毎日のように来てくれていますので、様子を見ながら対応していますが、元気に他の子とも遊んでいます。1年生はだいたい午後4時頃、お友達と約束してて、一緒に帰る子が今のところ多いです。それはすごくよいことだと思います。午後4時に帰るといふ子がいれば、他の子にも声をかけ、一緒に帰ってもらうようにしています。利用の仕方、今のところ混乱はなく、スムーズにできています。次に学童保育室について報告します。学童保育室は、あびっ子クラブのすぐ近くにあり、よく一緒にドッジボール、サッカーなどして遊んでいます。スタッフも自分が担当する施設だけでなく、両方の子どもたちを見るようにしているので、うまく運営できています。雨の日は、多くの学童保育の子があびっ子クラブに来て遊ぶことがあります。2年目もスタッフ一同しっかり運営していきたいと思えます。

(4) 平成25年度あびっ子クラブ登録状況について

(委員長) ありがとうございます。続きまして、平成25年度のあびっ子クラブの登録状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 学校ごとの登録状況について、各コーディネーターから説明がありましたので、全体の説明をします。平成24年度に比べ、平成25年度は登録率が下がっているように見えますが、登録申請書の出し忘れや、他の子が登録しているのを知って後から申請してくることが毎年あるため、最終的には昨年と同様もしくは微増になると見込んでいます。学童保育室を利用している児童は、あびっ子クラブの登録料が免除されますので、登録用紙も出してもらうようにしています。1～3年生は90%の登録率、4～6年生は20～30%の登録率、全体では約70%の登録率となっています。以上です。

(委員長) これまでの説明で、ご質問やご意見等がありますか。

(委員) 毎年、各学校のあびっ子クラブと学童保育室の実施状況をまとめた資料は、有益な数字だと思って拝見しているのですが、これからいろいろな検証をしていく上で、例えば安全面、管理面で、事故やトラブルなどがあつたのかなかつたのか、あつたのであれば、どのくらいの件数なのか。また、サポーターさんの助けがあつてうまく実現ができているのですが、例えば年間どのくらいのサポーター登録者がいて、どのくらい活動してくださっているのか、スタッフさんがどのくらいいて、うまく賄えているのか、資料3になんでもかんでも足すようにとは言いませんが、いくつか指標としてもう少し足していただけると、効果検証の有益な資料になると思います。今のままだとちょっと足りない気がいつもしています。いかがでしょうか。

(委員長) 事務局から回答をお願いします。

(事務局) すみません、外がうるさくて少し聞き取りにくいところがあつたのもう一度ご説明してください。

(委員) 例えば、安全・安心の話が出ていますので、事故とかトラブルの件数などはどれくらいあつたのか。保険も加入していますから、適用件数が何件あつたのか、載せたらいいと思います。サポーターの登録者がいて、どのくらい参加しているか。うまくいっているかの指標になりますよね。一体化との絡みで、実は私はスタッフの正確な人数を知らなかつたりして、そういう情報を資料3に入れていただくと、うまくいっているのか、もしくは、問題があるのかがわかりやすくなると思います。私たちは委員会の中ではこの資料3と各スタッフさんからのお話しを合わせて聞き取ろうとしているのですが、いま話したような数値的な部分は説明だけでは埋まらないので、そういうところを入れていただくとすごくわかりやすくなると思います。いかがでしょうか。

(事務局) 事故の件数とサポーターさんの参加状況については、集計すれば出るものなので、そちらは次回の運営委員会でご提示したいと思います。ただし、事故の件数は非常に少ないです。そのうち、保険を適用しているケガも非常に少ないですが、

擦り傷などの小さなケガはあるかもしれませんが、市の担当に報告があがってきているものについては、非常に少ないというのが印象です。

(委員) 少ないから載っていないと思うのですが、やっぱり少ないということ載せていただくとよいと思います。

(事務局) わかりました。次回、提示します。また、サポーターさんの参加状況についても次回報告いたします。なお、スタッフの体制については、今年度から変えた部分もありますので、次の資料5でも説明させていただきますが、人数と体制についても、次回お示しできるようにします。

(委員長) では、資料については次回の提示をお願いします。

(事務局) はい、わかりました。

(委員) 私が昨年度の会議で、この運営委員会で良いことだけでなく、悪いことも言うように申し上げたのは、先ほど委員が仰っていたとおり、現場では例えば子どもたちがグランドゴルフのクラブを振り回して他の子に当たり出血するなどの事故が起きているのです。そのような情報は、他の学校で有益な情報となるので、是非この場で報告して欲しいと思います。

(委員長) わかりました。その内容については、次回提示するようにします。そのほか、ご意見等はございますか。湖北台西小の校長先生はいかがでしょう。

(委員) いろいろな情報交換を学校側とできていて、大変ありがたいと思っています。垣根無く、お互いがカバーし合ってやっていけるところが非常によいと思います。

(委員長) ありがとうございます。湖北台東小の校長先生はいかがでしょう。

(委員) 私はまだ東小に来て日は浅いですが、放課後、学童保育室の子どもが外で元気に遊んでいる姿を見えています。ただ学校側が垣根を作ってしまったのかもしれないですが、もう少し学校側から学童保育室へ積極的にお話を伺いに行ったりしたほうがよいのかなと反省をしています。

(委員長) P T A代表の方はいかがでしょう。

(委員) 日頃、私の子どもが学童保育とあびっ子クラブを利用していますが、あり方について初めて知ることができました。三小は特殊事情であびっ子クラブと学童保育室が離れていますが、他の学校さんは近くにあるので、活発な連携が取れているなと思いました。三小は離れているため、連携した活動をしたいのだけれどもしにくい部分はあるのかなと感じました。

(委員長) 他に何かございますか。無いようですので、今年度の取組みについて説明に移りたいと思います。

5. 今年度の取組みについて

(1) 各あびっ子クラブ及び学童保育室の活動状況について

・湖北台東小あびっ子クラブの進捗状況

(委員長) 湖北台東小のコーディネーターから湖北台東小あびっ子クラブの進捗状況につ

いて、説明をお願いします。

(委員) 今の状況について、ご説明します。湖北台東小では、6月1日にあびっ子クラブがオープンするというので、現在、オープンに向けて大わらわで作業を進めています。お部屋の掃除、電話等の工事、おもちゃ選び等から始めています。学校側にお願ひし、運動会前に3年生、運動会後に2年生と1年生の体験を実施できるような時間をとっていただいています。もし、体験の前に子どもたちがお部屋を訪れたときに見られるよう、メインルームの前に利用方法を掲示しています。オープンの日が土曜日なので、あびっ子クラブのお部屋から子どもがあふれないか心配しています。午後からは体育館をお借りできることが決まっていますが、午前中の2時間をどう乗り切るか、頭を悩ませています。少年サッカーや野球等に行き、参加する子どもが少ないのではないかと考えていますが、翌週の3日から5日あたりは子どもがあふれるのではないかと予想していますので、その3日間については、校庭や体育館を使わせていただくと大変ありがたいと思っています。体育館の耐震工事も始まってしまうので、子どもたちをどこで遊ばせたらよいか、頭を悩ませているところです。サポーターさんの募集をこれから始めますので、みなさんと協力しながらやっていけたらと考えています。湖北台東小のあびっ子クラブは他と違い3階にありますので、子どもたちの動線がどのようになるのか、心配しています。また、他の教室に行ってしまうと防犯装置が反応してしまうため、パーテーションで行かないように工夫していますが、忘れ物を自分の教室に取りに行こうと隙間から通ってしまう子がいないか心配しています。以前に違う学校で勤務していたときも、忘れ物を取りに来た方がけっこういたので、心配しています。登録数が非常に多く、全校児童320人中、212人が登録していると認識していますが、現在はそれ以上になっていると思います。お部屋の掃除をしていると、廊下からどんなおもちゃを買ったか聞いてくる子どももいて、みなさん楽しみにしてくれています。これから、みなさまのお知恵を拝借する機会が出てくると思うので、そのときはよろしくをお願いします。

・あびっ子クラブへの専任配置による運営状況

(委員長) 続きまして、あびっ子クラブへの専任配置による運営状況について、事務局からお願いします。

(事務局) 初めての方も多いので、これまでの概要から説明させていただきます。小学校の中には、学童保育室とあびっ子クラブの両方があります。あびっ子クラブと学童保育を一体的に運営していく上で、学童利用の保護者と話し合いを重ねました。市としては、学童保育の子どももあびっ子クラブの子どももスタッフが一体となって保育・見守りするという方針を立てました。しかし、学童利用の保護者からは、学童は預かる場所なので、きちんと責任のあるスタッフにいて欲しいという要望を受け、学童保育にはリーダーが常時いるようにしました。あびっ子クラブ利用の児童や保護者の話も聞くと、あびっ子クラブにも、いつも同じスタッフが

いてくれるという安心感が欲しいということだったため、あびっ子クラブにはコーディネーターが常時いるようにしました。では、どこが一体的に運営されているかという点、リーダー、コーディネーターのほかにも、嘱託のサブリーダー、臨時のアシスタントの2種類のスタッフがあります。このスタッフが、あびっ子クラブと学童保育室の両方を交代制で勤務するという体制を組んでいます。この体制を数年来続けてきたのですが、あびっ子クラブが毎年1校ずつ増え続け、今年5校、来年6校となる中で、現場でもいろいろ課題が出てきました。そこで昨年、あびっ子クラブがある4校のスタッフを全員集めて、現在抱えている問題点の出し合い、今後学童保育とあびっ子クラブを一体的に運営していくためにはどうしていけばよいか、話し合いました。その中で決まったことが、平成25年度から試行的に全あびっ子クラブにサブリーダーを専任として置くことです。児童数とスタッフ数が多い根戸小と三小は、話し合いの上、昨年度から専任を配置しています。その結果、サポーターさんのとりまとめや学校との連携などの運営がうまく回るようになったので、一小と湖北台西小も専任を配置することとしました。今年の6月にオープンする湖北台東小もコーディネーターと専任のサブリーダーを配置します。しかし、この体制でも何らかの課題は出てくると思うので、夏休み明けの9月に振り返りの会議を予定しています。三小は、出産で仕事を休んでいる方や、急遽辞めてしまった方がいて、あびっ子クラブの方が十分な体制がとれていないという課題もありますが、新たな体制で良かったところ、悪かったところ等、現場のスタッフの意見を聞きながら、今後も進めていきます。

(委員) 4月から一小あびっ子クラブには専任スタッフが1名増え、2名体制となりました。4月は学童に新1年生がたくさん入ってくるということで、学童の方に比較的多い勤務となっていたので、これまでとそれほどの差はないようにも思いましたが、やはり、勤務時に行う細かい打合せをしなくても、スタッフ同士がつながっているのが、あびっ子クラブの運営はスムーズになりましたが、反対に課題としてこれまで定期的にあびっ子クラブに勤務していたスタッフが、あびっ子での勤務が非常に少なくなっているのが、今はこれまであびっ子に何度も勤務した実績があるスタッフなので問題はないのですが、これが長いこと続くとだんだん、お互いがお互いのことをわかりにくくなっていくのではないかと、一番心配しています。4月は学童保育室が新1年生が登室し始め大変な時期で、5月はあびっ子クラブが新1年生の利用が始まりとても大変な時期となっていますが、とてもスムーズに運営できている状況です。

(委員) 根戸小あびっ子クラブスタート時から全てコーディネーター1人でやらなければいけなかったのですが、24年度から専任スタッフを配置してもらったので、今までだいぶ時間がかかっていた事務処理についても、二人で協力しながらできるので、非常に助かっています。専任スタッフの配置により、他のスタッフがあびっ子クラブに勤務する場合、よくわからないということがないよう体制に見直し、当番制で月毎に担当する施設を変えるようにしたので、昨年度よりは、どの

スタッフもあびっ子クラブのことが理解できる体制になったと思います。

(委員) 三小は、学童保育室とあびっ子クラブが離れたところにあるため連携の取り方は難しいのですが、その日それぞれの施設で勤務しても、帰りにもう一方の施設に行くようにしています。子どもが暴れて手がかかる時や、学童保育室へ誘導するスタッフが少ない時など、臨機応変に対応しています。自分が勤務する施設だけにとらわれずに、子どもたちをみんなで見たいこうという姿勢はスタッフ全員一致していると思っています。あびっ子と学童で校庭に出る時間がなかなか一緒にならないのですが、同じ時間になった時は、スタッフがみんなと一緒にみるようにしています。24年度からあびっ子クラブに専任が配置されたことで、とても助かっています。あびっ子クラブ立ち上げの時はコーディネーター1人だったので、買い物に行くにも、掃除をするにもすべて1人で仕切らなくてはいけなかったもので、専任がいることによりコーディネーターの負担は減っていると思います。スタッフ間の意識を共通理解していれば、あびっ子クラブも学童保育室もうまく回っていくと思います。

(委員) これまであびっ子クラブの立ち上げがコーディネーター1人体制で大変だったという反省を踏まえ、湖北台西小は2名体制でスタートしたので、他のあびっ子クラブに比べてとてもよかったと思います。一人ではなかったのも、何事も話し合いができてよかったと思います。スタッフの体制についても、スタッフみんなで見えるようにしているので、子どもたちを見守る目が増えてとてもよいです。勤務があびっ子クラブでも学童保育室でも何かあったときにすぐ行くことができるので、その点ではお互いに安心して、その日の勤務を行えているので、とてもよいです。

(委員長) ありがとうございます。以上が各あびっ子クラブ及び学童保育室の活動状況についての報告となります。これについて何かご質問はございますか。なければ、平成25年度放課後対策事業における主要事業についての説明を事務局よりさせていただきます。

(2) 平成25年度放課後対策事業における主要事業について

(事務局) 昨年度から委員を引続き引き受けていただいている方は、平成24年度第4回運営委員会にてお話しさせていただいた内容と一部重複していますが、現在の進捗状況を含め、今年度の主な新規事業のご説明します。まずは、あびっ子クラブについてです。6月から湖北台東小学校にオープンするあびっ子クラブの運営費が予算確保できました。また、昨年度から運営委員会においても検討を重ねてきた、あびっ子クラブにおける障害児の受入れに伴い、これまで学童保育室のみ巡回していた心理相談員があびっ子クラブでも巡回できるよう、予算を増額確保できました。2点目は6校目のあびっ子クラブの整備についてです。現在、並木小に設置できるよう検討を始めています。予算は地域の方みなさんのご協力が得られるようになった段階で、確保することになっていますので、今年度補正での予

算要求を予定しています。決定次第、運営委員会で報告します。3点目は緊急通報システム導入です。既に学童保育室にはすべて整備されています。不審者が入ってきたときに、スタッフがボタンを押すとセコムの方が来てくれるシステムです。あびっ子クラブにもいつ不審者がくるかわからないという声もありますので、今年度すべてのあびっ子クラブに緊急通報システムを設置します。なお、市内の小、中学校を始め、公共施設を一括に管理をしていこうというシステムが立ちあがりしました。この中で、あびっ子クラブも学童保育室も小学校と一体的に管理していただくという方向で検討を進めています。4点目は既存あびっ子クラブの維持補修についてです。これまで、サポーターさんの方や、この運営委員会に出席いただいている委員の方からも、危ないのではないか、直したほうがよい、という意見をいただいていた中で、今年度は、数年来ご要望があった一小あびっ子クラブのタイルカーペットを張替えるための予算が確保できました。また、一小、三小あびっ子クラブの吊り下げ式蛍光灯を埋め込み式のLED照明に変更します。根戸小あびっ子クラブの雨どいについては壊れていたのを4月に修繕実施済みです。湖北台西小あびっ子クラブについては、メインルームがある場所に虫が発生しやすいので、網戸を設置します。また、出入口のドアが大変重いので、子どもの怪我を防止するため交換工事を行います。次に学童保育室についてです。第四小学校の児童数増加に伴い、学童保育室の利用者も増えています。学童保育室は80名定員なのですが、今年の4月当初には130名の児童が利用する状況となりました。現在は120名となりましたが、夏休みは140～150名になると予想しています。学校の敷地内にスペースをいただき、2階建ての保育室を新築します。小学校も教室が足りない状況になっているので、現在使用している部屋は、小学校に返還します。来年2月末には完成を予定しており、子どもたちがたくさんくる春休みまでには引越しを済ませたいと考えています。2点目の学童保育室の運営についてです。安全面の観点でAEDを設置します。基本的には小学校に設置されているものをお借りすることになっていますが、三小と高野山小学童保育室は学校から少し距離があるため、保育室内に設置することにしました。新木小学童保育室については、転ぶと危険がある児童をお預かりしているため、床をクッション性のあるコルクマットに変更する整備工事を予定しています。一小学童保育室の玄関が、狭く、大きな段差があるので、利用する児童、また、お迎えにくる保護者の方が利用しやすくなるよう、バリアフリー工事を予定しています。続いて布佐南小学童保育室については、保育室前の通路に雨が降ると、足首ぐらいの深さまで雨水がたまってしまう状況で、すぐ隣にすこやか広場もあり、ベビーカー利用者も多いため、コンクリート舗装工事をします。5月9日から工事を実施する予定でしたが、天候等の都合でスタートが遅れました。並木小、及び、布佐小学童保育室については、埋め込み式のLED照明の設置工事を予定しています。説明は以上です。

(委員長) ありがとうございます。全体を通して何かご質問はございますか。無いよう

ですが時間がありますので、こちらから指名させていただきます。生涯学習課長はいかがでしょう。

(委員) 特にありません。

(委員長) 子ども総合計画推進市民委員会委員さんはいかがでしょう。

(委員) 勉強させていただきました。ありがとうございました。

(委員長) 民生委員さんはいかがでしょう。

(委員) 特にありませんが、私もサポーターしていますが、いろいろとどうやって遊ぶか、毎日考えています。コーディネーターさんが仰っていたように、子どもが何時に帰るかというところまで気が回らず申し訳ないと思っています。

(委員長) 青少年相談員さんはいかがでしょう。

(委員) 昔とは大分、相談員の構成が変わってきています。昔は地元のお店の人が多かったのですが、平日の夕方でも協力できていたのですが、最近はどうしても土日しか活動ができないメンバーが多くなってきたので、我々の活動も土日に集中しています。特にあびっ子クラブに関しては、それぞれの学校に設置されているということもありまして、青少年相談員はそれぞれの学校の学区ごとにメンバーが決まっていますので、学校との事業として展開していく中で、あびっ子クラブと連携がとれたり、お互いに協力できればよいと思っています。各小学校区で事業を実施する場合には、それぞれの学区長が窓口になりますので、学区長にお電話をしていただければ、何かしらの形でお手伝いをできると思いますので、気軽にご相談ください。

(委員長) ありがとうございました。他に質疑と意見はございませんか。無いようなので、次回以降の運営委員会開催の日程について、事務局より説明をお願いします。

6. その他

次回以降の運営委員会開催の日程について

(事務局) 第2回は、8月20日(火)の9時半から11時半です。場所は今日と同じ、消防署2階の大会議室です。ご案内は8月初旬にさせていただきます。第3回は11月20日(水)、消防署2階の大会議室です。ご案内は11月初旬にさせていただきます。なお、消防署の駐車場は使用できないため、市役所の駐車場をご利用いただき、消防署まで徒歩でお越しいただけますようお願いいたします。第4回は、2月中旬開催の予定です。場所がまだ確保できていませんが、教育委員会の会議室を予定しています。ご案内は第3回開催時にいたします。

(委員長) 開催日程が配布物に記載されている内容と違うようですが。

(事務局) すみません、配布物に記載している情報が間違っております。申し上げたとおり、第2回は8月20日(火)で、第3回は11月20日(水)です。よろしく申し上げます。

(委員長) わかりました。みなさま訂正をお願いいたします。その他で何かございますか。

(委員) 根戸小あびっ子クラブについて、報告し忘れたことがあるのでお話をしていた

できます。根戸小あびっ子クラブは昨年12月に文部科学大臣賞を受賞し、地域新聞の記者から取材を受けました。一つはイースト情報の1面で「子どもたちをはぐくむ地域の力」という記事、もう一つは朝日れすかで「地域の力花開く」という記事で掲載されています。特にイースト情報には、あびっ子クラブのことが詳しく載っていますので、あびっ子クラブって何ですかとスタッフに質問があったとき、「記事を読んでください」とお話ししたこともありました。また、今年のチャレンジタイムのお絵描きの時間に、鯉のぼりを作りました。子どもたちが、白い布を切って縫い合わせ、鯉の形にしました。絵の具には少し糊を混ぜました。この鯉のぼりを竿に提げ、外に設置しました。毎年2匹ずつ作り、連なって泳がすことを目標にしようと話しています。以上です。

(委員長) ありがとうございます。他にありますか。

(委員) 湖北台西小学童保育室の保護者から学童保育室とあびっ子クラブの質に関する要望がありましたので報告します。一体化を目指しているとのことですが、学童保育室は親御さんが預けている場ですので学童の質を重点的に上げるようにしてほしいとのことでした。

(事務局) 今のお話しは、学童保育室はお金を払って預ける施設なので、現在の質を守って欲しいという解釈でよろしいでしょうか。そのお話しは重々わかっています。学童保育室には、児童数に対するスタッフの配置数の基準が設けられていますし、特別に支援が必要な児童がいれば、その児童も分もプラスしてスタッフを配置しています。一番違うのが、学童保育室は児童が保護者との約束の時間に来ていないときに、スタッフが保護者に連絡したり学校に児童が帰った時間を確認しに行ったり、責任を持った対応をしているところです。これは今後も変えるつもりはありません。

(委員) もちろんそれはわかっている前提で質問させていただきました。会議の場で、常に認識を確認し続けたい考えで発言させていただきました。あと、今回は放課後対策運営委員会ということで、学童保育室とあびっ子クラブに限らず、子どもたちの放課後を考える場だと思うのですが、目撃した一例なのですが、ある場所で子どもが自転車でおばあさんを轢いてしまい、おばあさんが救急車で運ばれて、子どもが警察官と話をしていたということがありました。おそらく、親御さんは注意してくれていると思うのですが、それだけでは伝わらないこともあると思います。学童保育室とあびっ子クラブでも、気をつけて自転車を運転するよう声かけはしてくれていると思いますが、全体的な動きをとっていけたらと思います。

(事務局) 学童保育室、あびっ子クラブのスタッフに、気をつけるよう声かけすることを周知したいと思いますが、学校側はいかがでしょうか。

(委員) まったく聞いておりませんでした。いつでしょうか。

(委員) 去年です。

(委員) まったく学校には連絡がきていません。

(事務局) 私たちから教育委員会に報告し、注意をして欲しいということでお話しはしてい

きたいと思います。

(委員長) 他にございますか。なければ、これで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

【閉 会】